

こんにちは!!

市長です

Vol.56

「新しい夏」



▶子供連れあい公園で行われた朝のラジオ体操会(6月4日)

令和2年の1月、国内で最初の新型コロナウイルス感染者が確認されました。それから起こった社会の混乱は、今思い返しても本当に大変でした。外出自粛、人との接触の制限、マスクの着用：さまざまな制約の中、でき

ることを模索し、力を合わせ乗り越えてきました。現在、第6波といわれるオミクロン株による新規感染は、全国的に減少傾向にあります。そのような中、厚生労働省から、屋外での散歩やランニング、通勤・通学では「マスクは必要ない」との呼びかけがありました。もちろん、マスク着用は基本的な感染対策としてこれからも重要です。しかし、夏の高温多湿の環境で、熱中症リスクを回避するためにも、『マスクを外すこと』になったことは、歓迎したいと思います。今年、通常に近い形で修学旅行も再開でき、また多くの行事、会議なども対面で実施されています。3年という長い間に経験したさまざまな実例の検証や調査が進み、ようやく手探りで新たな日常への一歩を歩み始めた気がしています。各地域での小さな夏のお祭りや家族での旅行、帰省など、今年はこれまでできなかったことができる、新しい夏になると思います。感染に気をつけながら、何倍も、何倍も楽しみましょう。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎253215)

美術の小窓

《意思杉》
水井康雄作
1991年

高さ:380cm 素材:花こう岩



京都生まれの石彫家・水井康雄の作品が、市民会館の正面玄関に面した屋外の広場に設置されています。制作前に渋川の地を訪れた水井は、縄文文化にゆかりの深い地であることを知り、表面に刻まれた綾(斜めの)模様で“意思”の積み重ねを表現し、「文化は人の意思の綾であろう」と語りました。

美術館ワークショップ

市美術館では、8月14日(日)・21日(日)・28日(日)に子ども向けワークショップ「仮装であーと! あーとで変身!」を中央公民館で開催します。詳しくは、市ホームページまたは学校を經由して配布するチラシを確認してください。

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし
協力隊

長沼隊員の
おすすめスポット
— Vol.16 —



今月は祖母島駅からの景色をご紹介します! 祖母島駅はとっても静かにたたずむ無人駅。電車に乗る人も降りる人も少ない駅だけど、ホームからの景色は格別です。他の駅ではなかなか見ることができない180度に広がる田園風景は、電車の待ち時間を特別なものにしてくれること間違いなしです。夏の緑が広がる田んぼも、秋の黄金色に輝く田んぼも、どちらもとてもおすすめです! ぜひ、素敵な景色を堪能しに行ってください!



▲協力隊の
ホームページ
はこちら

